

自立 敬愛

市川南中学校だより No.23
R3.3.12 校長 上田

市川南中学校 HP



74th 市川南中学校卒業式

▼3月11日(木)市川南中学校第74回卒業式が行われました。新型コロナウイルスの関係で規模を縮小しての開式となりましたが、中学校3カ年の集大成にふさわしい、厳粛で感動的な式となりました。以下は校長式辞の一部です。

▼八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこの三年間、日々の学習や数々の行事を通して、友達同士、お互いに励まし合い助け合いながら、心と身体を鍛えて、大きく逞しく成長してきました。▼とりわけ最上級生に進級した今年は、コロナ禍という異例の一年となりました。四月、五月の臨時休業、学校に来て学び、友と過ごすこれまでの当たり前が当たり前でなくなり、寂しい思いや不安な気持ちを感じたことと思います。▼学校再開後も感染症予防のため、授業や部活動、学校行事等において様々な制約を受けました。例年より一ヶ月遅れの真夏に行った夏季総合体育大会、迫真の演技で平和の尊さや大切さを表現した南翔祭での学年劇「夏休み」、全行程をバスとタクシーに変え十月に行った二泊三日の奈良・京都への修学旅行、美しいハーモニーを響かせた音楽発表会、どれもこれも、みんなで知恵を出し合い、協力し合いながら、一つ一つ困難を乗り越え、行事を成功に導いてくれました。また、日常の学校生活においても、皆さんは持ち前の明るさと前向きさで、下級生の良き手本となりました。▼いよいよ四月からは高校生活がスタートします。そんな皆さんへ私から「三つ」のはなむけの言葉を送りたいと思います。▼一つ目は、「志」を持って欲しいということです。今皆さんが持っている夢や希望を「志」として大切に、その実現に向け粘り強く挑戦して欲しいと思います。失敗を恐れてはなりません。失敗は人生の多くの示唆を与えてくれ、次への挑戦と飛躍への原動力、すなわちあなた自身の人間力となるのです。「志」を胸に刻み、挑戦し続けて欲しいと思います。▼二つ目は、本を読み続けて欲しいということです。文字で読めば、情報量が少ない分、想像力や思考力が働きます。人工知能やロボットが身近になった

Ai時代だからこそ、自らの脳でじっくりと考え、的確な判断ができる人になって欲しいと思います。▼三つ目は、感謝の心を忘れないで欲しいということです。皆さんが本日卒業証書を手にすることができたのは、皆さん一人一人の努力があったことは勿論です。しかしその陰には、お父さんやお母さんなど家族の方や、地域の皆さん、そして先生方など多くの人のお力添えや愛情があったことは理解できると思います。その感謝の気持ちを義務教育修了の本日を機会に今度は家族や地域へと少しずつ返して欲しいと思います。▼最後に小説家吉川英治さんの俳句を皆さんに送ります。「菊根分け 後は自分の 土で咲け」。菊づくりは、根分けして冬を越した新芽を春に切って挿し芽をする作業から始まります。その後も毎日の水やりはもとより、成長に応じて鉢を替えたり支柱を立てたりと、多くの手間と愛情を注ぎ育てます。「菊作り 菊見る時は 陰の人」。保護者の皆様には、これから独り立ちし、大輪をつけるであろうお子様を、今後とも温かく見守り続けて欲しいと思います。▼結びに、三年間に渡り市川南中学校の教育にご理解とご協力を賜りました保護者の皆様に改めまして感謝と御礼を申し上げます。

▼その後、在校生を代表し寺澤将二さんが、送る言葉を述べました。3年生への感謝の気持ちと、後を引き継ぐ決意の込められた素晴らしい挨拶でした。続いて3年生による別れの言葉がありました。3年間の思い出と感謝の気持ち一杯詰まったとても素晴らしい発表でした。巣立ちゆく3年生のさらなる飛躍を願います。



祝 全 員 合 格 !

▼本日、公立高校の後期入試の合格発表があり、見事、全員合格となりました。おめでとうございます。